



後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは？

風間 幸三（薬剤部副部長）

「後発医薬品」とは、先に開発・販売されてきた「先発医薬品(新薬)」に対し、先発医薬品の特許が切れたあとで製造・販売される医薬品のことです。海外では、医師が処方せんにブランド名（商品名）ではなく、ジェネリック名（成分名）を書くことで、後発医薬品を使用する指示とすることから後発医薬品は、ジェネリック医薬品と呼ばれています。

先発医薬品（新薬）を開発するためには、何年何十年もかけて試験をするため、開発には長期間かかり、その開発費用は膨大な金額がかかることとなります。一方、後発医薬品は先発医薬品と同じであることを科学的に証明する試験をすることで発売できるため、後発医薬品の開発には時間と費用がかからずに発売できます。そのため後発医薬品は先発医薬品に比べて安く販売できるメリットがあり、欧米では幅広く使われています。安い薬を使うことによって、患者さまの経済的な負担が軽くなり、国の医療費の抑制にもなります。

しかしながら、それぞれ利点と欠点がありますので、どちらを選ぶかは患者さまご自身と主治医の判断となりますので、よくご相談ください。

Q 今使用しているお薬をジェネリック医薬品に変更したい時はどうしたらいいですか。

A 薬局でお薬をもらうときに薬剤師に相談してください。

但し、先発医薬品のみでジェネリック医薬品がない場合や、処方医が先発医薬品を使用するように指示している場合もあります。

Q どの製薬メーカーのジェネリック医薬品にしたらいいか分からないときはどうしたらいいですか。

A 薬局で薬剤師に相談してください。薬局によって取り扱っている製薬メーカーが決まっていたり、同じジェネリック医薬品でも製薬メーカーによって価格の違う場合もあります。

Q ジェネリック医薬品から先発医薬品に変更することもできますか。

A もちろんできます。薬局でお薬をもらうときに薬剤師に相談してください。

先発医薬品の利点と欠点

- 開発してからの期間が長いいため薬に関する情報量が多い
- 医師の使用経験が多いため使用しやすい
- 供給が安定している
- 値段が高い（後発品にくらべて）

後発医薬品の利点と欠点

- 値段が安い
- 飲みやすく工夫されているものもある
- 情報量が少ない
- 薬の成分は同じだが、作り方などが違う場合もある
- 供給が安定していないことがある